

伊那谷・経済動向

中小企業景気レポート



アルプス中央信用金庫

<http://www.alupuschuo-shinkin.jp/>

ALSHIN
BANK

主要指標		今期	前年同期	前年同期比
有効求人倍率 (伊那公共職業案内所管内)		21/11 0.39 倍	20/11 0.87 倍	前年同月比 -0.48 倍
電力使用量 (中電伊那営業所管内)	電灯	9~11月 83,824千kwh	9~11月 84,594千kwh	-0.91 %
	電力	9~11月 266,011千kwh	9~11月 292,402千kwh	-9.03 %
自動車新規登録台数 (松本自動車検査 登録事務所管内)	新車	7,622 台	6,045 台	26.09 %
	中古車	1,661 台	1,557 台	6.68 %
	合計	9,283 台	7,602 台	22.11 %
住宅新設着工数 (上伊那地方事務所管内) (戸建て・共同住宅を含む)		9~11月 236 件	9~11月 535 件	-55.89 %
駒ヶ岳ロープウェイ乗車客数		65,225 人	68,917 人	-5.36 %
中央道利用台数 (伊北インター分)	入	284,075 台	313,647 台	-9.43 %
	出	267,421 台	299,717 台	-10.78 %
中央道利用台数 (伊那インター分)	入	402,456 台	387,816 台	3.77 %
	出	416,485 台	399,581 台	4.23 %
中央道利用台数 (駒ヶ根インター分)	入	316,976 台	321,275 台	-1.34 %
	出	317,563 台	317,170 台	0.12 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	251,266 台	258,185 台	-2.68 %
	出	247,582 台	256,032 台	-3.30 %

地区内の景況観

◆今後の業況

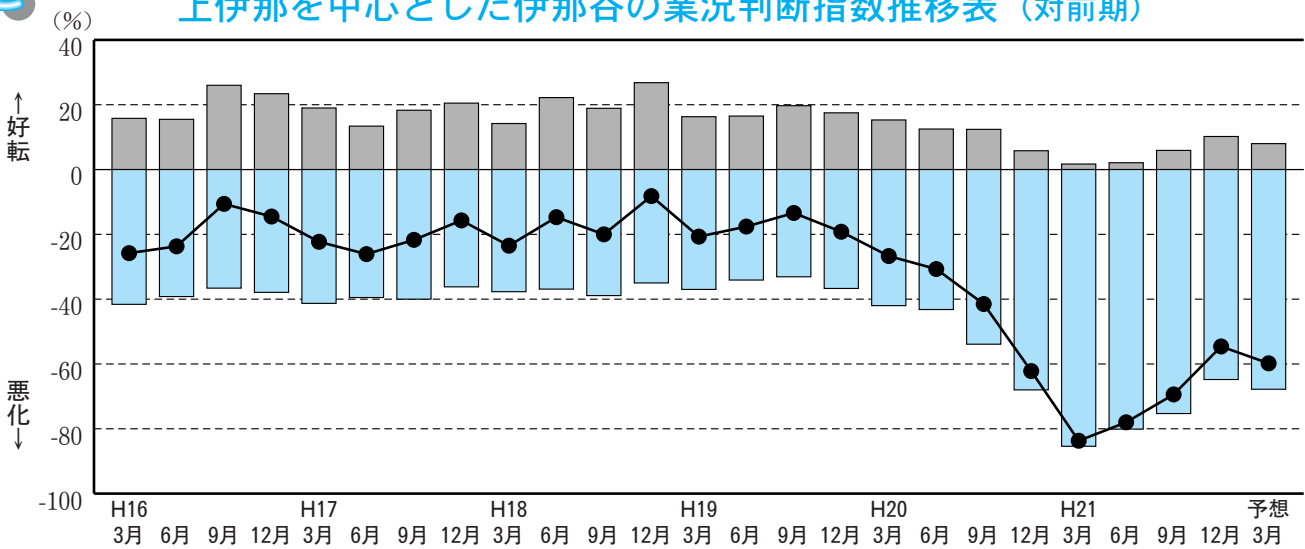
今期の上伊那地区内の業況については、DI▲54.6（前期▲69.4）と前期より14.8ポイント改善した。業種別に見ると、DIは製造業▲56.0（前期▲71.2）、建設業▲30.3（前期▲72.2）、卸売業▲80.0（前期▲72.7）、小売業▲60.0（前期▲63.4）、サービス業▲63.7（前期▲65.2）、不動産業▲66.7（前期▲66.7）となっており、全ての業種でマイナス領域にある。対前期で比較すると卸売業と不動産業を除いた業種において改善が見られた。

なかでも建設業は41.9ポイントと大幅に改善されたが、依然として全業種で深刻な状況に変わらないものの、総じて改善の兆しが見られ、水面下ながら持ち直しの傾向が見られる。

◆来期の見通し

総合では、DI▲59.8（今期▲54.6）と依然としてマイナス領域で、今期に比べ▲5.2ポイントの後退予想となっており、さらに低調感を増す見通しである。業種別で見ると、DIは製造業▲61.7（今期▲56.0）、建設業▲36.3（今期▲30.3）、卸売業▲80.0（今期▲80.0）、小売業▲60.0（今期▲60.0）、サービス業▲77.3（今期▲63.7）、不動産業▲66.7（今期▲66.7）となっており、製造業、建設業、サービス業では来期さらにマイナス幅が拡大する予想である。年度末に向けては総じて悪化傾向が強まり、深刻さがさらに強まる景況見通しとなっている。

上伊那を中心とした伊那谷の業況判断指数推移表（対前期）



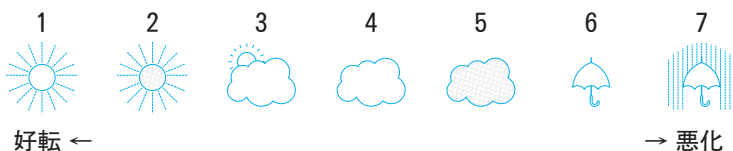
※棒グラフは業況判断指数、折れ線グラフはDIを表しています。

※DIとは、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた数値で、どちらの力が強いかで業況を判断しています。

なお、「仕入価格」については下降割合から上昇割合を、「販売価格」については上昇割合から下降割合をそれぞれ差し引いた数値で判断しています。

業種別天気図

業種	時期	平成21年	平成21年	平成21年	平成22年
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期予想
総合		☀️	☀️	☀️	☀️
製造業		☀️	☀️	☀️	☀️
建設業		☀️	☀️	☔️	☔️
卸売業		☀️	☀️	☀️	☀️
小売業		☀️	☀️	☀️	☀️
サービス業		☀️	☀️	☀️	☀️
不動産業		☀️	☀️	☀️	☀️



製造業 (回答企業 75社)

◇今後の業況

今期のDIは▲56.0(前期▲71.2)となり、15.2ポイント上昇した。

各指標別で見ると、売上額では前期に比べDIは▲14.6(前期▲22.5)で7.9ポイント上昇し、受注残においてもDIは▲9.3(前期▲25.0)と15.7ポイント回復した。また、収益のDIも▲18.7(前期▲32.5)で13.8ポイント、資金繰りDIは▲30.6(前期▲38.7)で8.1ポイント、価格面DI▲25.4(前期▲28.7)で3.3ポイント改善した。一方、原材料価格はDIで▲12.0(前期1.3)と▲13.3ポイント下降した。

前年同期比で見ると、DIで売上額は▲61.4(前年同期▲69.3)、収益面でも▲66.7(前年同期▲74.6)とともに7.9ポイント改善が見られ、減少・減益幅は縮小した。

◇来期の見通し

来期の見通しについては、DIは▲61.7(今期▲56.0)と▲5.7ポイント悪化傾向が強まり、7割の企業が「さらにマイナス幅が拡大する見通しである」と回答している。年度末に向けては、さらに低調感が強まり業況感が落ち込む見通しである。

主な指標では、DIで売上額▲40.0(今期▲14.6)▲25.4ポイント、受注残▲44.0(今期▲9.3)▲34.7ポイントで売上額・受注額ともに減少幅が拡大する予想であり、依然として厳しい業界動向である。資金繰りのDIは▲34.7(今期▲30.6)▲4.1ポイントとさらに窮屈感が強まる中、借入れを予定している企業は29.7%、設備を予定している企業は25.0%となっている。

◆DI指数推移

		平成21年					予想 1~3月
		平成20年 10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業況		▲69.3	▲86.5	▲82.5	▲71.2	▲56.0	▲61.7
売上額		▲57.4	▲78.3	▲50.0	▲22.5	▲14.6	▲40.0
受注残		▲60.0	▲74.0	▲56.2	▲25.0	▲9.3	▲44.0
収益		▲68.0	▲85.1	▲56.3	▲32.5	▲18.7	▲49.4
販売価格		▲14.9	▲31.5	▲32.5	▲28.7	▲25.4	▲22.7
原材料価格		▲16.2	17.5	1.2	1.3	▲12.0	▲12.0
原材料在庫		8.1	15.1	5.0	3.7	2.7	1.4
資金繰り		▲25.3	▲48.7	▲42.5	▲38.7	▲30.6	▲34.7

◆借入金の動き・難易度 (有効回答に占める割合)

		平成21年					予想 1~3月
		平成20年 10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
借入実施	した	44.6%	40.5%	33.8%	38.0%	41.9%	29.7%
	しない	55.4%	59.5%	66.2%	62.0%	58.1%	70.3%
借入難易度	容易	9.5%	10.8%	12.7%	9.1%	9.6%	—
	不変	60.8%	55.4%	60.7%	58.4%	56.2%	—
	難	13.5%	20.3%	13.9%	15.6%	16.4%	—
	該当なし	16.2%	13.5%	12.7%	16.9%	17.8%	—

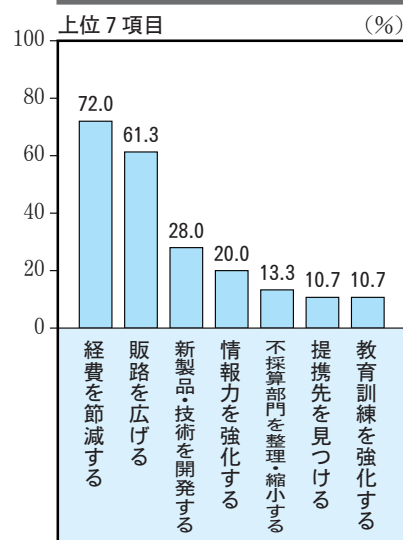
◆設備投資の動き (有効回答に占める割合)

		平成21年					予想 1~3月
		平成20年 10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
実施	した	36.6%	19.5%	15.7%	25.6%	29.3%	25.0%
	しない	63.4%	80.5%	84.3%	74.4%	70.7%	75.0%
状況	過剰	25.3%	41.9%	27.8%	30.0%	21.3%	23.0%
	適正	69.4%	54.0%	63.3%	61.2%	70.7%	71.6%
	不足	5.3%	4.1%	8.9%	8.8%	8.0%	5.4%
DI		20.0	37.8	18.9	21.2	13.3	17.6

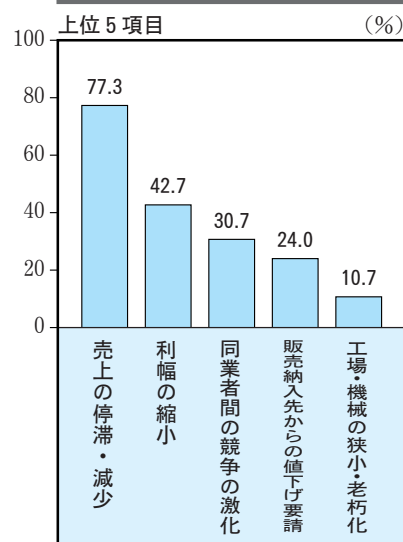
◆雇用面の動き (有効回答に占める割合)

		平成21年					予想 1~3月
		平成20年 10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
残業時間	増加	1.4%	1.4%	3.8%	12.5%	18.7%	5.3%
	不変	40.5%	25.6%	34.9%	38.7%	46.6%	54.7%
	減少	58.1%	73.0%	61.3%	48.8%	34.7%	40.0%
人手	過剰	33.8%	51.4%	43.8%	41.3%	32.4%	37.8%
	適正	60.8%	45.9%	53.7%	54.9%	56.8%	55.4%
	不足	5.4%	2.7%	2.5%	3.8%	10.8%	6.8%

重点経営施策 (複数回答)



経営上の問題点 (複数回答)



建設業

(回答企業 34社)

◆今後の業況

今期の業況は、DI▲30.3（前期▲72.2）と41.9ポイント改善が図られ厳しさが和らいだ。

各指標を見ると、売上額については前期に比べてDI▲14.7（前期▲50.0）で35.3ポイント改善が図られ、前年同期比で見ても、DIは▲32.3（前年同期▲38.2）と5.9ポイント持ち直している。受注残についてもDI8.8（前期▲50.0）と58.8ポイント水面下を脱して増加に転じた。また、施工高はDI▲5.9（前期▲41.7）と35.8ポイント減少幅が縮小した。価格面ではDIで請負価格が▲17.7（前期▲27.8）と10.1ポイント上昇、僅かではあるが下降したとする企業の割合は減少、また、上昇したと回答する企業もあった。材料価格は0.0（前期▲8.3）と8.3ポイント改善が図られた。しかし、依然として仕入環境は厳しい状況ではあるが下降傾向に一服感が見られる。収益面についても、前期に比べDI▲23.6（前期▲47.3）で23.7ポイント、前年同期比でもDI▲38.2（前年同期▲58.8）と20.6ポイント改善が図られ、減少が一服、持ち直している。しかし、売上や請負価格が安定せず、収益環境は依然として厳しい状況である。また、資金繰りについては、前期に比べてDI▲35.3（前期▲47.2）と11.9ポイント改善されたが、依然として大きなマイナス領域にあり、窮屈感からは脱し切れていない。

◆来期の見通し

来期の見通しについては、DIは▲36.3（今期▲30.3）と▲6.0ポイントさらに厳しさを増す見通しである。

各指標別においては、売上額のDIは▲26.5（今期▲14.7）と▲11.8ポイント減少する予想となっている。また、収益面のDIは▲32.4（今期▲23.6）と▲8.8ポイント減少予想であり、引き続き厳しい収益環境である。また、資金繰りのDIは▲41.2（今期▲35.3）と▲5.9ポイント悪化し、苦しさが強まり、さらに窮屈感が増す見通しである。

※「売上高＝完成工事高」、「施工高＝出来高」、「請負価格＝受注額」

◆DI指数推移

		平成20年				平成21年			
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	予 想	予 想
業 況		▲50.0	▲73.0	▲71.1	▲72.2	▲30.3	▲36.3		
売 上 額		▲5.9	▲51.4	▲60.5	▲50.0	▲14.7	▲26.5		
受 注 残		▲8.8	▲40.6	▲47.4	▲50.0	8.8	▲35.3		
収 益		▲23.5	▲51.4	▲76.3	▲47.3	▲23.6	▲32.4		
請 負 価 格		▲14.7	▲51.4	▲47.4	▲27.8	▲17.7	▲29.4		
材 料 価 格		▲53.0	▲27.0	▲13.1	▲8.3	0.0	5.9		
在 庫		▲3.0	▲5.5	▲2.7	3.0	▲3.0	▲5.9		
資 金 繰 り		▲52.9	▲51.4	▲52.7	▲47.2	▲35.3	▲41.2		

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

		平成20年				平成21年			
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	予 想	予 想
借 入 実 施	し た	58.8%	73.0%	50.0%	58.3%	61.8%	61.8%		
	し ない	41.2%	27.0%	50.0%	41.7%	38.2%	38.2%		
借 入 難 易 度	容 易	9.1%	16.2%	10.8%	13.9%	11.8%	—		
	不 変	48.5%	40.6%	62.2%	58.3%	61.7%	—		
	難	30.3%	32.4%	18.9%	22.2%	20.6%	—		
	該 当 な し	12.1%	10.8%	8.1%	5.6%	5.9%	—		

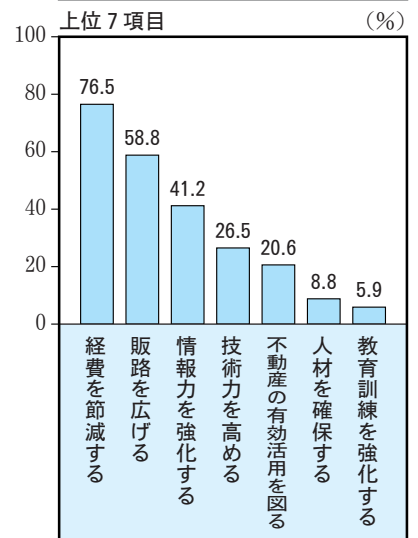
◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

		平成20年				平成21年			
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	予 想	予 想
実 施	し た	22.9%	15.0%	20.0%	15.8%	23.7%	20.5%		
	し ない	77.1%	85.0%	80.0%	84.2%	76.3%	79.5%		
状 況	過 剰	15.2%	8.1%	10.5%	8.3%	5.9%	6.1%		
	適 正	81.8%	83.8%	86.9%	91.7%	88.2%	84.8%		
	不 足	3.0%	8.1%	2.6%	0.0%	5.9%	9.1%		
D I		12.2	0.0	7.9	8.3	0.0	▲3.0		

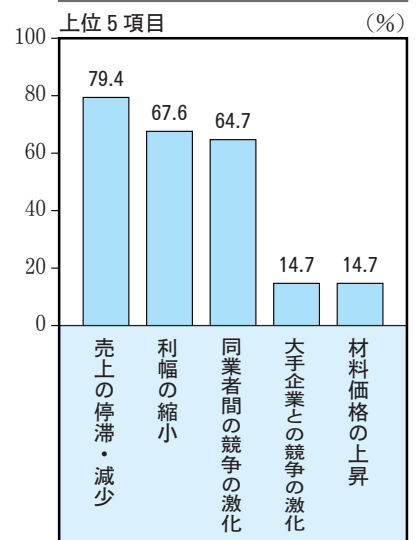
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

		平成20年				平成21年			
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	予 想	予 想
残 業 時 間	増 加	17.6%	8.1%	2.6%	5.6%	8.8%	5.9%		
	不 変	67.7%	59.5%	55.3%	63.8%	73.6%	76.5%		
	減 少	14.7%	32.4%	42.1%	30.6%	17.6%	17.6%		
人 手	過 剰	26.5%	18.9%	31.6%	22.2%	17.6%	17.6%		
	適 正	70.6%	70.3%	60.5%	69.5%	73.6%	76.5%		
	不 足	2.9%	10.8%	7.9%	8.3%	8.8%	5.9%		

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



卸 売 業 (回答企業 10社)

◇今後の業況

今期の業況はDI▲80.0(前期▲72.7)と▲7.3ポイント悪化、さらにマイナス幅が拡大した。

各指標別にみると、売上額については、前期比ではDI▲50.0(前期▲36.3)で▲13.7ポイント悪化、前年同期比でもDI▲80.0(前年同期▲44.5)と▲35.5ポイント悪化し、減少幅は大きく拡大した。また、販売価格でもDI▲40.0(前期▲18.2)で▲21.8ポイント悪化し、さらに下降を強めた。逆に、仕入価格はDIが10.0(前期0.0)と10.0ポイント上昇している。収益面では前期比でDI▲50.0(前期▲36.3)と▲13.7ポイント減少し、前年同期比でも、DI▲60.0(前年同期▲55.6)と▲4.4ポイント後退し、依然として大きなマイナス領域にあり、売上の減少や販売価格の低下などにより収益環境はさらに厳しさを増している。資金繰りについてはDI▲10.0(前期▲54.5)で45.5ポイント改善している。また、借入れを実施した企業は50.0%(前期54.5%)であった。設備状況については適正とする企業が90.0%(前期81.8%)、設備を実施した企業が10.0%(前期9.1%)とそれぞれ増加した。

◇来期の見通し

来期の見通しについては、DI▲80.0(今期▲80.0)と前期と同水準であり、全企業で業績が落ち込む予想となっている。

主な指標で見ると、売上額のDIは▲70.0(今期▲50.0)と▲20.0ポイント、収益のDIは▲60.0(今期▲50.0)と▲10.0ポイントと、さらに減少幅が拡大し深刻さを増す見通しである。また、借入れを予定している企業は37.5%(今期50.0%)、設備を予定している企業は0.0%(今期10.0%)となっており、卸売業では年度末に向けての設備需要は全くない。

◆DI指数推移

	平成20年	平成21年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	▲41.7	▲100.0	▲66.7	▲72.7	▲80.0	▲80.0
売 上 額	▲22.3	▲90.0	▲16.7	▲36.3	▲50.0	▲70.0
収 益	▲11.1	▲90.0	8.3	▲36.3	▲50.0	▲60.0
販 売 価 格	44.4	▲50.0	▲33.3	▲18.2	▲40.0	▲30.0
仕 入 価 格	▲55.6	40.0	33.3	0.0	10.0	10.0
在 庫	0.0	20.0	0.0	9.1	10.0	10.0
資 金 繰 り	0.0	▲60.0	▲33.3	▲54.5	▲10.0	▲30.0

◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合)

	平成20年	平成21年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 実 施	した	25.0%	33.3%	41.7%	54.5%	50.0%	37.5%
	しない	75.0%	66.7%	58.3%	45.5%	50.0%	62.5%
借 入 難 易 度	容 易	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	—
	不 変	88.9%	90.0%	83.4%	81.8%	80.0%	—
	難	0.0%	0.0%	8.3%	9.1%	10.0%	—
	該当なし	11.1%	10.0%	0.0%	9.1%	10.0%	—

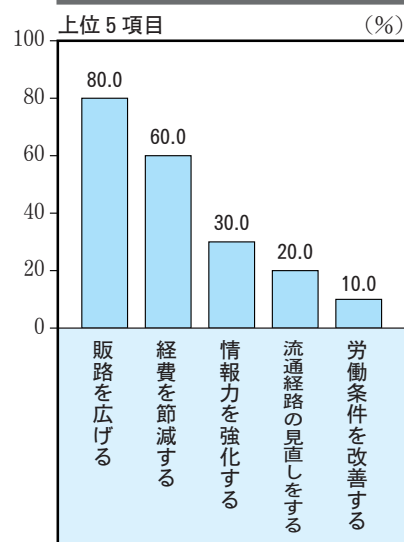
◆設備投資の動き(有効回答に占める割合)

	平成20年	平成21年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
実 施	した	33.3%	0.0%	28.6%	9.1%	10.0%	0.0%
	しない	66.7%	100.0%	71.4%	90.9%	90.0%	100.0%
状 況	過 剰	0.0%	25.0%	0.0%	18.2%	0.0%	10.0%
	適 正	100.0%	75.0%	90.9%	81.8%	90.0%	80.0%
	不 足	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	10.0%	10.0%
DI	0.0	25.0	▲9.1	18.2	▲10.0	0.0	

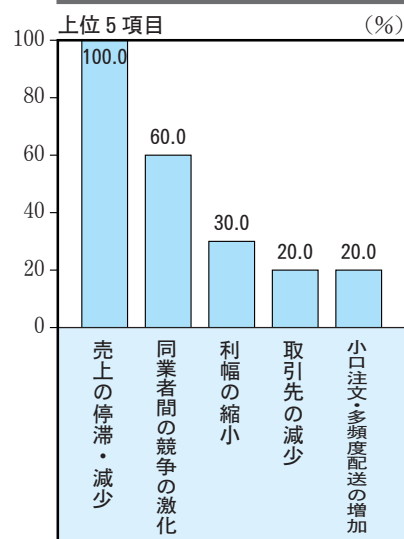
◆雇用面の動き(有効回答に占める割合)

	平成20年	平成21年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	不 変	87.5%	66.7%	81.8%	80.0%	80.0%	80.0%
	減 少	12.5%	33.3%	18.2%	20.0%	20.0%	20.0%
人 手	過 剰	22.2%	40.0%	25.0%	27.3%	20.0%	20.0%
	適 正	77.8%	60.0%	75.0%	72.7%	80.0%	80.0%
	不 足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

重点経営施策(複数回答)



経営上の問題点(複数回答)



小 売 業 (回答企業 30社)

◇今後の業況

今期の業況はDI▲60.0(前期▲63.4)と3.4ポイント僅かながらマイナス幅が縮小した。

売上額については、前期比ではDI▲26.7(前期▲26.7)と同水準であったが、前年同期比ではDI▲63.4(前年同期▲43.5)と▲19.9ポイント減少し、大きなマイナス領域にあり低調感を強めている。販売価格については、前期比ではDI▲33.4(前期▲16.7)と▲16.7ポイント減少し、厳しい状況である。仕入価格のDIは26.6(前期0.0)と26.6ポイント上昇している。収益面では、前期比でDI▲46.7(前期▲43.4)▲3.3ポイント減少した。資金繰りのDIは▲33.3(前期▲36.7)と3.4ポイント改善されたものの窮屈感が緩和されるまでには至っていない。また、今期借入れをした企業は31.0%(前期31.0%)と前期と同水準であり、今期設備を実施した企業は16.1%(前期6.5%)と前期に比べ増加している。

◇来期の見通し

来期の見通しについては、売上額のDIは▲53.3(今期▲26.7)と▲26.6ポイント減少幅が拡大する予想となっており、収益のDIも▲50.0(今期▲46.7)と▲3.3ポイント減少する見通しである。また、借入れを予定している企業は28.6%(今期31.0%)と僅かに減少している。設備を予定している企業は6.5%(今期16.1%)と僅か減少する予想となっており、年度末に向けて依然として設備投資を手控える傾向にある。

◆DI指数推移

	平成20年	平成21年				予 想
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
業 況	▲56.6	▲85.7	▲80.7	▲63.4	▲60.0	▲60.0
売 上 額	▲34.8	▲67.9	▲64.5	▲26.7	▲26.7	▲53.3
収 益	▲39.1	▲71.4	▲64.5	▲43.4	▲46.7	▲50.0
販 売 価 格	▲26.1	▲42.9	▲22.6	▲16.7	▲33.4	▲41.4
材 料 価 格	▲8.7	14.3	3.2	0.0	26.6	35.7
在 庫	13.0	3.6	16.1	6.6	13.3	16.7
資 金 繰 り	▲26.1	▲39.3	▲32.2	▲36.7	▲33.3	▲46.7

◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合)

	平成20年	平成21年				予 想	
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月		10~12月
借 入 実 施	した	31.8%	19.2%	33.3%	31.0%	31.0%	28.6%
	しない	68.2%	80.8%	66.7%	69.0%	69.0%	71.4%
借 入 難 易 度	容 易	4.5%	11.5%	14.3%	13.8%	10.7%	—
	不 変	59.2%	57.8%	39.3%	34.5%	53.6%	—
	難	13.6%	11.5%	14.3%	13.8%	14.3%	—
	該当なし	22.7%	19.2%	32.1%	37.9%	21.4%	—

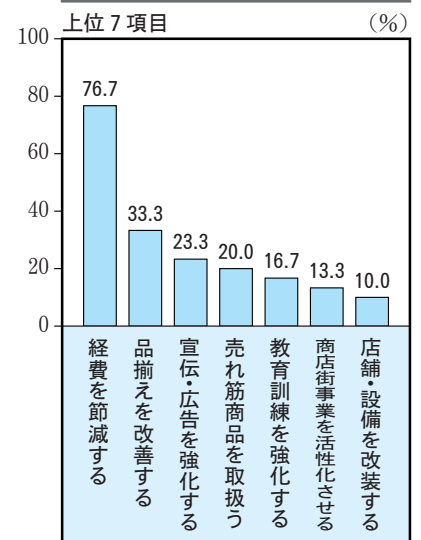
◆設備投資の動き(有効回答に占める割合)

	平成20年	平成21年				予 想	
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月		10~12月
実 施	した	4.3%	10.3%	15.6%	6.5%	16.1%	6.5%
	しない	95.7%	89.7%	84.4%	93.5%	83.9%	93.5%
状 況	過 剰	4.5%	18.5%	16.1%	10.3%	16.7%	17.2%
	適 正	77.3%	70.4%	67.8%	69.0%	66.6%	62.1%
	不 足	18.2%	11.1%	16.1%	20.7%	16.7%	20.7%
DI	▲13.7	7.4	0.0	▲10.4	0.0	▲3.5	

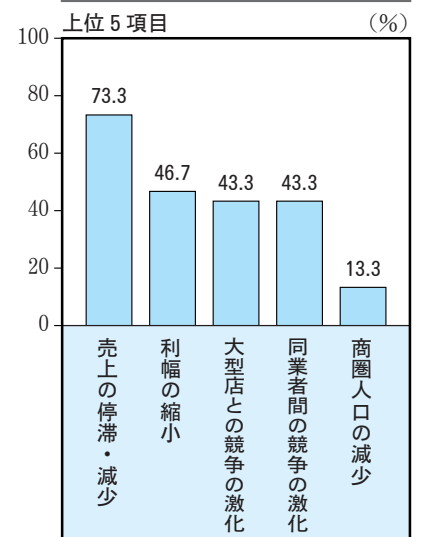
◆雇用面の動き(有効回答に占める割合)

	平成20年	平成21年				予 想	
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月		10~12月
残 業 時 間	増 加	4.3%	3.6%	0.0%	0.0%	6.7%	16.7%
	不 変	78.3%	78.5%	70.0%	78.6%	73.3%	76.6%
	減 少	17.4%	17.9%	30.0%	21.4%	20.0%	6.7%
人 手	過 剰	13.0%	10.7%	30.0%	20.7%	6.9%	13.8%
	適 正	65.3%	82.2%	63.3%	72.4%	65.5%	79.3%
	不 足	21.7%	7.1%	6.7%	6.9%	27.6%	6.9%

重点経営施策(複数回答)



経営上の問題点(複数回答)



サービス業 (回答企業 22社)

◇今後の業況

今期の業況はDI▲63.7(前期▲65.2)と1.5ポイント良化した。

売上額は前期と比べDI▲72.7(前期▲43.5)と▲29.2ポイント減少幅が拡大した。前年同期比ではDI▲63.7(前年同期▲72.7)と9.0ポイント改善はしたが、依然として大きなマイナス領域にあり、厳しい状況下にある。収益は前期と比べDI▲72.7(前期▲43.5)と▲29.2ポイント減少幅が拡大したが、前年同期比ではDI▲59.1(前年同期▲81.8)と22.7ポイント改善している。また、資金繰りのDIは▲54.5(前期▲27.3)と▲27.2ポイント悪化し、厳しさが増している。借入面については、借入れをした企業が28.6%(前期39.1%)、借入れが容易とする企業は9.1%(前期13.6%)、難しいとする企業は9.1%(前期18.2%)となっている。材料価格のDIは13.7(前期▲26.1)と39.8ポイント上昇に転じた。また、料金価格のDIは▲22.7(前期▲13.1)と▲9.6ポイント下降しており、下げ止まり感はあるものの収益環境は依然として厳しい状況である。設備状況については、過剰とする企業は13.6%(前期0.0%)と増加しており、不足とする企業は18.2%(前期27.3%)と減少している。今期、設備を実施した企業は9.1%(前期13.0%)となっている。

◇来期の見通し

来期の見通しについてはDIは▲77.3(今期▲63.7)と▲13.6ポイント悪化幅が拡大する見通しである。

主な指標で見ると、売上額のDI▲77.3(今期▲72.7)と▲4.6ポイント減少、収益も▲81.8(今期▲72.7)と▲9.1ポイント減少し、減少・減益幅が拡大する見通しとなっている。資金繰りでは▲63.6(今期▲54.5)と▲9.1ポイント減少、一段と厳しさが増す予想となっている。また、借入れを予定している企業は28.6%(今期28.6%)と今期と同水準にあり、年度末に向けて設備実施を予定している企業は0.0%(今期9.1%)となっている。

◆DI指数推移

	平成20年	平成21年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	▲77.3	▲87.0	▲83.3	▲65.2	▲63.7	▲77.3
売 上 額	▲45.5	▲78.3	▲54.2	▲43.5	▲72.7	▲77.3
収 益	▲54.6	▲73.9	▲50.0	▲43.5	▲72.7	▲81.8
料 金 価 格	▲9.1	▲17.4	▲4.1	▲13.1	▲22.7	▲22.7
材 料 価 格	▲41.0	▲13.1	▲8.7	▲26.1	13.7	0.0
資 金 繰 り	▲63.6	▲73.9	▲66.7	▲27.3	▲54.5	▲63.6

◆借入金の動き・難易度 (有効回答に占める割合)

	平成20年	平成21年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 施	した	31.8%	43.5%	30.0%	39.1%	28.6%	28.6%
	しない	68.2%	56.5%	70.0%	60.9%	71.4%	71.4%
借 入 難 易 度	容 易	4.8%	9.1%	0.0%	13.6%	9.1%	—
	不 変	66.7%	68.2%	54.1%	59.1%	68.2%	—
	難	19.0%	13.6%	16.7%	18.2%	9.1%	—
	該当なし	9.5%	9.1%	29.2%	9.1%	13.6%	—

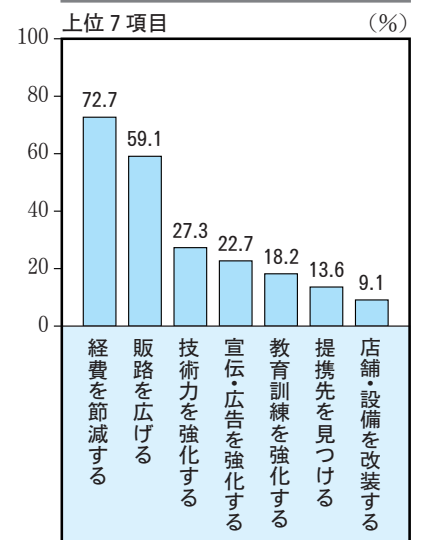
◆設備投資の動き (有効回答に占める割合)

	平成20年	平成21年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
実 施	した	32.0%	13.0%	12.5%	13.0%	9.1%	0.0%
	しない	68.0%	87.0%	87.5%	87.0%	90.9%	100.0%
状 況	過 剰	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	13.6%	14.3%
	適 正	77.3%	72.7%	90.9%	72.7%	68.2%	66.7%
	不 足	22.7%	18.2%	9.1%	27.3%	18.2%	19.0%
DI	▲22.7	▲9.1	▲9.1	▲27.3	▲4.6	▲4.7	

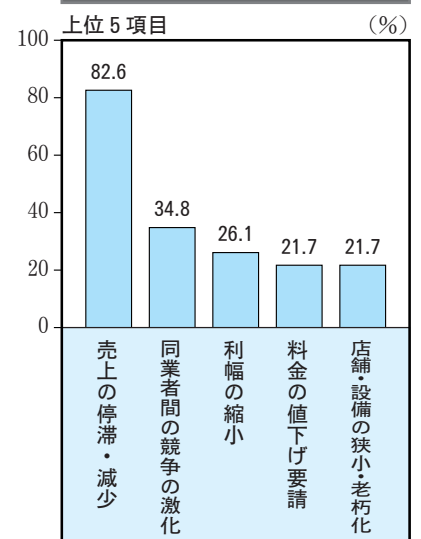
◆雇用面の動き (有効回答に占める割合)

	平成20年	平成21年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	4.8%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%
	不 変	66.6%	54.5%	68.2%	66.6%	70.0%	65.0%
	減 少	28.6%	45.5%	31.8%	28.6%	30.0%	35.0%
人 手	過 剰	13.6%	36.4%	25.0%	34.8%	14.3%	28.6%
	適 正	72.8%	59.1%	75.0%	56.5%	71.4%	66.6%
	不 足	13.6%	4.5%	0.0%	8.7%	14.3%	4.8%

重点経営施策 (複数回答)



経営上の問題点 (複数回答)



不動産業 (回答企業 6社)

◇今後の業況

今期の業況はDIは▲66.7(前期▲66.7)と前期と同水準であった。

各指標を見ると、売上額については前期に比べDI▲50.0(前期▲66.7)と16.7ポイント改善が図られた。また、前年同期比ではDI▲50.0(前年同期▲50.0)と変化はなかった。収益面についてはDI▲50.0(前期▲66.7)と16.7ポイント改善が図られ、減少・減益幅は縮小した。しかし、大きなマイナス領域にあり、依然として厳しい収益環境である。前年同期比ではDI▲50.0(前年同期▲50.0)と変化はなかった。

◇来期の見通し

来期の見通しについてはDI▲66.7(今期▲66.7)と今期と同水準と予想している。

各指標別では、売上額についてはDI▲50.0(今期▲50.0)、収益についてもDI▲50.0(今期▲50.0)と変化なしと予想している。しかし、依然として大きなマイナス領域にあり厳しい業界動向である。販売価格のDIは▲33.3(今期▲50.0)と16.7ポイント上昇する見通しではあるが、依然として回復の兆しは見られない。また、仕入価格はDIが16.7(今期33.3)と▲16.6ポイント減少予想となっている。また、借入れを予定している企業は20.0%(今期33.3%)となっている。

◆DI指数推移

	平成20年		平成21年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
業 況	▲50.0	▲66.7	▲50.0	▲66.7	▲66.7	▲66.7	▲66.7
売 上 額	▲50.0	▲50.0	▲50.0	▲66.7	▲50.0	▲50.0	▲50.0
収 益	▲50.0	▲50.0	▲50.0	▲66.7	▲50.0	▲50.0	▲50.0
販 売 価 格	▲50.0	▲66.7	▲50.0	▲50.0	▲50.0	▲50.0	▲33.3
仕 入 価 格	40.0	66.7	33.3	50.0	33.3	16.7	16.7
在 庫	16.6	16.6	0.0	16.6	16.6	0.0	0.0
資 金 繰 り	▲16.7	▲16.7	▲16.7	▲16.7	▲16.7	▲16.7	▲16.7

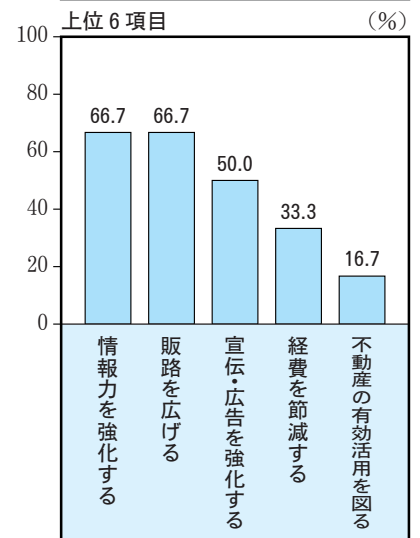
◆借入金の動き・難易度 (有効回答に占める割合)

	平成20年		平成21年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 実 施	した	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	33.3%	20.0%
	しない	83.3%	83.3%	83.3%	66.7%	66.7%	80.0%
借 入 難 易 度	容 易	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	—
	不 変	50.0%	33.4%	49.9%	66.6%	66.6%	—
	難	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	—
	該当なし	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	—

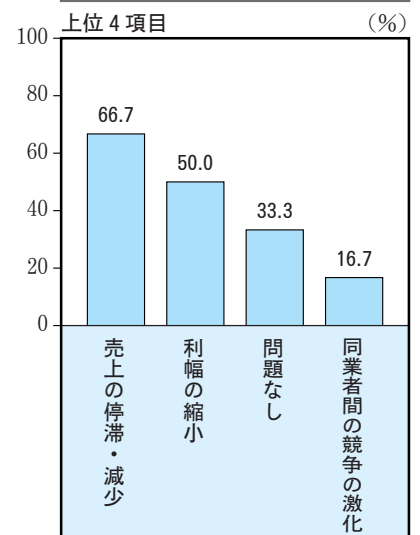
◆雇用面の動き (有効回答に占める割合)

	平成20年		平成21年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	不 変	100.0%	60.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
	減 少	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
人 手	過 剰	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%
	適 正	80.0%	100.0%	100.0%	100.0%	80.0%	80.0%
	不 足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

重点経営施策 (複数回答)



経営上の問題点 (複数回答)



特別調査 平成22年の経営見通し

平成22年の景気見通しについて、総合的には、回復を予測する企業は小売業の2社のみで、「景気は思わしくない」と回答した企業がほぼ全社に達しており、全ての業種で「平成22年の日本の景気回復について」は悲観的な見方が大半を占め、厳しい業況になる見通しとしている。

「自社の業況（景気）見通しについて」は、「普通」または「業況回復への良好感を持っている」企業は1割程度に留まり、建設業、卸売業、サービス業では、全企業で低調感が強まる見通しとなっている。昨年の調査結果から、「やや良い」または「普通」と回答した企業が3%程度であったことを考えれば若干の明るさも見られる。また、製造業においては1社「非常に良い業況」と回答している。しかし、総合的には8割の企業で先行きは不透明で業況は深刻度合いを増し、景気回復への道は険しいと見ている。

売上額の伸び率については、6割を超える企業が「減少する」と回答している。昨年の調査では、8割の企業が「減少する」という回答結果であった。本年は昨年と比較して、若干の回復傾向が見られるが、卸売業では、増加見込みの目途が全く立たない状況である。その他の業種では、僅かながらも増加する見込みである。

昨年度末の地区内景況（DI）を一番底と見ると、若干の売上回復基調も見られるが、依然として売上上伸は期待できない。

自社の業況の好転期については、本年中に「良好感が出る」と回答した企業は3割強に及ぶが、業況改善の見通しが全く立たないとする企業も3割近くに及ぶ。製造業・建設業・小売業・不動産業では、既に上向いているという企業もある。しかし、景気回復時期は2年以上先と予想している企業も3割近くあり、業態によって業況が上向く転換期の捉え方がまちまちであり、各企業の先行きの予測ができない実態が浮き彫りとなっている。

「連立与党の経済関連政策の中で期待・評価できる政策は」との問いには、中小企業法人税減税、保証制度拡充などの資金繰り策、こども手当などの家計支援、CO₂削減などの環境対策、条件変更による返済猶予制度、高速道路無料化などの地域活性化策の順となった。

平成22年の日本において重点的に取り組むべき政策課題として総じて言えることは、景気回復や中小企業対策の充実に向けた政策が喫緊の課題と思われ、平成22年も依然として厳しい業況になる見通しとなっている。

問1 貴社では、平成22年の日本の景気をどのように見通していますか。

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 非常に良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2. 良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3. やや良い	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%
4. 普通	3.4%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	16.7%
5. やや悪い	28.4%	37.3%	27.3%	40.0%	20.0%	9.1%	16.7%
6. 悪い	50.6%	45.3%	54.5%	40.0%	60.0%	59.1%	33.3%
7. 非常に悪い	16.5%	13.3%	18.2%	20.0%	13.3%	22.7%	33.3%

問2 貴社では、平成22年の貴社の業況（景気）をどのように見通していますか。

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 非常に良い	0.6%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2. 良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3. やや良い	4.5%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	16.7%
4. 普通	10.8%	10.7%	12.1%	10.0%	6.7%	13.6%	16.7%
5. やや悪い	42.0%	44.0%	39.4%	50.0%	50.0%	31.8%	16.7%
6. 悪い	31.3%	30.7%	33.3%	30.0%	26.7%	36.4%	33.3%
7. 非常に悪い	10.8%	6.7%	15.2%	10.0%	10.0%	18.2%	16.7%

問3 平成22年において貴社の売上額の伸び率は、平成21年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 30%以上の増加	0.6%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2. 20~29%の増加	2.9%	5.4%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%
3. 10~19%の増加	3.4%	5.4%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
4. 10%未満の増加	8.0%	13.5%	6.1%	0.0%	3.3%	4.5%	0.0%
5. 変わらない	17.1%	21.6%	18.2%	10.0%	10.0%	18.2%	0.0%
6. 10%未満の減少	34.3%	23.0%	33.3%	70.0%	60.0%	22.7%	33.3%
7. 10~19%の減少	21.1%	17.6%	15.2%	10.0%	16.7%	50.0%	33.3%
8. 20~29%の減少	6.9%	6.8%	12.1%	0.0%	6.7%	4.5%	0.0%
9. 30%以上の減少	5.7%	5.4%	12.1%	10.0%	0.0%	0.0%	16.7%

問 4 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 既に上向いている	6.3%	8.0%	6.1%	0.0%	6.7%	0.0%	16.7%
2. 6ヶ月以内	5.7%	10.7%	3.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%
3. 1年後	18.9%	25.3%	18.2%	30.0%	10.0%	4.8%	16.7%
4. 2年後	17.1%	17.3%	3.0%	10.0%	30.0%	23.8%	16.7%
5. 3年後	10.3%	8.0%	6.1%	20.0%	10.0%	19.0%	16.7%
6. 3年超	8.0%	6.7%	15.2%	0.0%	3.3%	9.5%	16.7%
7. 業況改善の見通しは立たない	33.7%	24.0%	48.5%	40.0%	36.7%	42.9%	16.7%

問 5 現在の連立与党が打ち出している（実施している）経済関連の政策の中で、期待・評価しているものはありますか。【複数回答】

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. こども手当などの家計支援	19.2%	16.0%	11.8%	20.0%	26.7%	36.4%	0.0%
2. 高速道路無料化などの地域活性化策	10.7%	10.7%	8.8%	20.0%	6.7%	9.1%	33.3%
3. CO ₂ 削減などの環境対策	18.6%	14.7%	23.5%	20.0%	23.3%	18.2%	16.7%
4. 中小企業法人税の減税	49.2%	53.3%	47.1%	20.0%	46.7%	59.1%	33.3%
5. 郵政事業の見直し	2.3%	0.0%	2.9%	0.0%	6.7%	4.5%	0.0%
6. 保証制度拡充などの資金繰り策	36.7%	32.0%	38.2%	30.0%	40.0%	54.5%	16.7%
7. 条件変更による返済猶予制度	18.6%	14.7%	20.6%	0.0%	20.0%	36.4%	16.7%
8. 製造現場への派遣原則禁止	2.3%	4.0%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%
9. その他	1.1%	1.3%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%
10. 現連立与党には期待していない	24.9%	24.0%	38.2%	30.0%	20.0%	4.5%	50.0%

お使いみち自由なカードローン

しんきん きゃつする

気軽なカードで賢くキャッシング。初めての方にも安心サポートの生活応援カードローンです。全国の信用金庫やコンビニに設置のATMでもご利用になれます。お申込み方法もいろいろ、あなたに合ったスタイルでお選びください。ますます便利な「きゃつする」をどうぞお気軽にご相談ください。

パートやアルバイトの方もOK!

☎ 0265-74-9612 (9時~17時 平日受付)

http://skgt.jp/1396/ (24時間 365日受付)

(簡単審査)へアクセスしていただければ、ご融資可能かお応えいたします。

📄 0265-72-4433 (24時間 365日受付)

http://skgt.jp/1396/ (24時間 365日受付)

(簡単審査)へアクセスしていただければ、ご融資可能かお応えいたします。

いままでもお取引のない方もご利用が可能!

●パート、アルバイトの方もOK!

カンタン 運転免許証などの簡単な書類(写)のみでお申込みが可能!

●お申込極度額が70万円、99万円の場合は別途、所得証明書類(写)が必要となります。

スピーディ スピーディな審査でうれしい即日回答!

●平日15:00までのお申込みの場合、原則として当日中にご連絡いたします。

商品のご案内

<ul style="list-style-type: none"> ■ご利用いただける方/年齢20歳以上65歳以下の方。安定した収入のある方。(パート、アルバイトの方もOK) ■お使いみち/ご自由です。(專業性資金は除きます。) ■お申込極度額/50万円、70万円、99万円のコースからお選びいただけます。 ■ご利用限度額/10万円から99万円。 ■手数料/ご契約時に印紙代200円が必要になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■お借入利率/年17.80%(保証料を含みます。) ■ご契約期間/3年間(原則、自動更新) ■ご返済方法/月々のご返済(返済用預金口座から自動引落としとなります。) ■必要書類/運転免許証、健康保険証、パスポートなど本人確認のできる書類(写)。
--	---

※平成20年10月1日現在

※当金庫および保証会社の審査によっては、お申込みをお断りする場合がございますのでご了承ください。

※店頭に商品概要説明書をご用意しています。

アルプス中央信用金庫

詳しくは、本支店窓口までお問い合わせください。